

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(深谷西小学校)

## 平均正答率

※自校の平均正答率と全国及び県平均正答率との比較(単位 %)

|      | 国語   | 算数   | 理科   |
|------|------|------|------|
| 深谷西小 | 上回った | 同等   | 上回った |
| 埼玉県  | 68   | 58   | 58   |
| 全国   | 66.8 | 58.0 | 57.1 |

## 児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

|            | 質 問 事 項                                                    | 深谷西小  | 埼玉県  | 全国   |
|------------|------------------------------------------------------------|-------|------|------|
| 生活習慣       | 朝食を毎日食べている                                                 | 95.9  | 94.3 | 93.7 |
|            | 毎日、同じくらいの時刻に寝ている                                           | 78.3  | 83.9 | 81.9 |
|            | 毎日、同じくらいの時刻に起きている                                          | 91.9  | 91.9 | 91.0 |
| 学習習慣       | 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている            | 87.8  | 84.8 | 81.7 |
|            | 学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)    | 27.1  | 25.6 | 24.9 |
|            | 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする                          | 50.0  | 49.0 | 47.1 |
|            | 学校の授業時間以外に、普段1日当たり10分以上、読書をする                              | 55.5  | 54.1 | 53.2 |
| 教科への関心     | 国語の勉強は好きだ                                                  | 77.0  | 59.3 | 58.3 |
|            | 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う                           | 93.2  | 92.1 | 90.4 |
|            | 算数の勉強は好きだ                                                  | 51.4  | 58.7 | 57.9 |
|            | 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う                           | 97.3  | 93.0 | 91.6 |
|            | 理科の勉強は好きだ                                                  | 86.5  | 81.4 | 80.1 |
|            | 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う                           | 82.4  | 81.7 | 79.9 |
| 主体的・対話的な学び | 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた                           | 87.8  | 84.7 | 80.3 |
|            | 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた | 75.7  | 75.7 | 68.6 |
|            | 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた                 | 85.1  | 82.8 | 77.8 |
|            | 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた        | 91.1  | 87.9 | 84.9 |
|            | ICT機器を使ってプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができた                     | 97.3  | 84.9 | 76.7 |
| その他        | 自分には、よいところがあると思う                                           | 83.8  | 88.5 | 86.9 |
|            | 将来の夢や目標をもっている                                              | 89.2  | 84.7 | 83.1 |
|            | 人の役に立つ人間になりたいと思う                                           | 98.6  | 96.8 | 96.4 |
|            | いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う                                   | 100.0 | 97.4 | 97.2 |

### 【質問紙分析】

- ・抽出した項目に着目すると、県や全国の平均値を 22 項目中 19 項目で本校が上回っており、全体的に関心の高さがうかがえる結果となった。
- ・基本的な生活習慣の「寝る時刻」については、週末が遅くなる傾向にあり、同じ時刻に寝ているという児童が 8 割に満たなかった。
- ・算数の勉強が好きだという児童は半数しかいないが、将来役に立つと感じて取り組んでいることがわかる。
- ・主体的、対話的な学びにおいては、多くの項目で県や全国の平均値を上回り、進んで学習に取り組んでいる様子が見える。
- ・「人の役に立つ人間になりたい」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目では、ほとんどの児童が肯定的回答をしている。日頃の道徳や人権教育の賜物と考える。
- ・昨年度研究を行った ICT 機器の効果的な活用法の成果があらわれ、ほとんどの児童が ICT 機器を活用し、プレゼンテーションの作成ができると回答した。

### 全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

#### 【国語】

- 目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(2三)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。(2四ア・イ)
- 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。(3三(2))
- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考えることができない。(2一)⇒書く内容の全体像が想像できていない。
- 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができない。(3二(2))⇒文の内容を的確に読み取れていない。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を選択することができない。(3三(1))⇒目的意識が薄く必要事項が把握できていない。

#### 【算数】

- 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができる。(1(3))
- 角の大きさについて理解している。(2(3))
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。(4(1))
- 目的に応じて適切なグラフを選択してその増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できない。(1(2))⇒増減は理解できるが、理由を説明するための表現力が不十分である。
- 数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができない。(3(3))⇒1までをいくつに分けているのか単位分数が理解できていない。

- 「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかをあらわすことができない。(4 (4)) →割合が理解できていない。

#### 【理科】

- 実験の方法を発想したり、結果を基に結論を導きその理由などを表現したりすることができる。(1 (1) (2))
- 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている。(2 (4))
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。(3 (2))
- 身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられる物があることの知識が身につけていない。(2 (1)) →金属の特性を理解していない。
- 電気の回路のつくり方について実験の方法を発想し、表現することができない。(2 (2)) →回路の条件が理解できていない。表現力の欠如。
- 発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題点を見だし、表現することができない。(3 (4)) →要点を押さえた正確な条件比較ができない。表現力の欠如。

### 課題への取組・改善策

#### 【国語】

- ・説明文の学習を中心に、事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成が捉えられるよう読み取りの学習を推進する。
- ・まとまった文章を書く時の組立てや構成の仕方を身に付けるため、チャレンジタイム等も活用し、書く時間の確保に努める。
- ・多くの情報から必要な事柄を自分で取捨選択していく機会を多くもたせるとともに、何を目的としているのか、問題がしっかり読み取れるよう全ての教科において意識した指導を行う。

#### 【算数】

- ・学校研究課題に据え、自分の考えを表現できる児童の育成に努める。定型文などを利用し表現に慣れ、さらに書いたものを発信し交流することを通して定着・発展につなげる。
- ・ICT 機器を活用し、個の苦手分野に特化した問題に集中的に取り組み、割合や分数の基本的な学習を繰り返し行い基礎基本の定着を図る。

#### 【理科】

- ・実験画像を活用したり、観察・実験を確実に実施したりすることで金属の特性などの基礎基本の定着を図る。
- ・思考の過程を含め、解答への理由付けが的確にできるよう、授業を中心に表現する機会を意図的に多く設け、力をつけていく。

#### 【その他】

- ・文を書くことへの抵抗がある児童も多く、まずは文を考え作っていくことを優先し、タブレットでの文章作成に着手していく。同時に書くことのハードルを下げる意味で、視写や日記などで書くことに慣れていく。
- ・基礎基本の定着に関しては、ICT 機器をより活用していく。

